

2008.6.15

東北大学 三辻和弥，迫田丈志
松川和人，中神宏昌

1. 調査の概要

2008年6月14日午前8時43分に、岩手県内陸部を震源とする地震(M=7.2)が発生し、岩手県奥州市および宮城県栗原市で震度6強の揺れが観測された。筆者らは、6月14日の調査に引き続き、大きな震度が観測された自治体の震度計、K-Net 観測点周辺の被害調査を行った。

2. 調査行程

6月15日(日)

12:00 頃 東北大学工学部出発

東北自動車道仙台宮城 IC 古川 IC

13:00 頃 大崎市古川着 (K-Net 古川，古川三日町観測点，大崎市役所)

16:40 頃 栗原市鶯沢総合支所

18:00 頃 栗原市栗駒

3. 各調査地点の被害状況

(1) 大崎市役所周辺 (古川三日町公園観測点，震度6弱)(写真1)

大崎市役所の南に位置する古川三日町公園に気象庁観測点がある。周囲は2階建て木造店舗や住宅が多い地域であるが、外壁モルタルのひび割れ程度の軽微な被害である。(写真2)



写真1



写真2

近くの鉄骨造の3階建て店舗に、外壁のひび割れや剥落が見られた。(写真3,4,5)



写真3



写真4



写真5

(2) K-Net 古川 (計測震度 5.5, 古川消防署) (写真6)

古川消防署の建物には、外壁の軽微なひび割れ以外に目立つ被害は見られなかった。
近くの古い木造民家1棟の塗り壁の剥落が見られた(写真7)が、周囲に多数ある住宅や
店舗などでは、他の被害は見られなかった。



写真6



写真7

ブロック塀の傾斜が一箇所見られた。(写真8)



写真8

(3) 栗原市鶯沢総合支所

鶯沢総合支所の外部に震度計が設置されている。(写真9)

構造被害は確認されなかったが、防煙ガラスの破損(写真10)や外構と建物との間の損傷(写真11)があった。周辺道路のアスファルトには亀裂が多く生じていた。



写真9



写真10



写真11

(4) 栗原市栗駒

栗駒から築館へ向かう地方主要道 42 号線において瓦の落下が見られた。(写真 12)

用水路にかかる橋と道路に 50mm 程度の段差が生じていた。(写真 13)

地方主要道 17 号沿いに瓦のずれや大谷石ブロックの倒壊が見られた。



写真 12



写真 13



写真 14



写真 15

4. まとめ

昨日に引き続き今回調査した地点, および, その移動中の道路周辺でも, 木造住宅の屋根瓦のずれや, モルタル外壁のひび割れ, S 造の外壁の落下, 非構造壁のひび割れ, などの被害がいくつか見られたが, それ以外に被害を受けた建物はほとんど見られなかった。